

# SHIRO TORI 通信

Vo.14

2017 winter

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

「心にいつも太陽を

～地域の未来に光を照らし

進化し続けるために～」

「伊那青年会議所」さん

城取設計ニュース

オススメ!この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録! 地元の子カラ この街の企業

cafetias

営業コラム





# 建築NEWS

渋谷駅で動き始めた壮大な未来計画！

2012年に「渋谷ヒカリエ」が開業し、「東口は大きく変わったな」と感じますが、それは壮大な再開発のプロローグです。

2015年9月JR東日本は、渋谷駅（東京都渋谷区）の大規模改良工事の本体工事に着手し、工事区間を3工区に分け工事が進んでいます。先行して行う埼京線の移設工事は東京五輪が開かれる2020年春の完了、全体完成は27年度の予定です。

シンボルとなる最も高い東棟（完成予想左下図）は地下7階、地上46階建てで高さは



228.3m。「渋谷ヒカリエ」の高さよりも45mほど上回っています。東棟は渋谷駅各線開札に直結し、地下から地上部にかけて街へのアクセスや鉄道の乗り換え動線となる東口立体交通広場を設け、「渋谷の玄関口」としての役割を果たします。

東急電鉄は、渋谷が「日本一訪れたい街」を目指し、線路跡地を起爆剤に、渋谷の多様な文化を日本のみならず世界に発信する街へと進化できるか。正念場を迎えています。

## 城取設計ニュース

### 2017年のご挨拶

昨年も沢山の建物に関わる事ができた弊社ですが、2017年を迎えまして例年以上に忙しくさせていただいております。

業界関係者のみならず多くの人から「今どんな建物やっているの（設計）？」と聞かれるのでここで少し紹介したいと思います。

- 『箕輪町 沢保育園』
  - 『南箕輪村 生涯学習センター』
  - 『南箕輪村 こども館』
  - 『大鹿村 道の駅』
  - 『ほっとワークス・みのわ』
  - 『飯島町 キッズ防災拠点施設』
  - 『原村 樺の木荘』
- その他にも民間企業の社屋・工場、病院施設建物調査など関わらせていただいております。

私達が大切にしていることの中に『地域との縁を大切に、地域

から求められる設計事務所へ！』という言葉があります。日頃からお客様と直接ふれあうなかで信頼関係を構築し、そこから生まれたご要望と真摯に向き合った設計の心がけています。

今年の干支は「酉」となります。皆さまにとりまして大きく羽ばたく年にして欲しいと思います。



おススメ

## この一冊

「孤高」

鈴木 敏文（日経BP社）

「ミスターコンビニ」と呼ばれたカリスマ経営者 経営の表舞台から退いた、流通王53年のすべて

「セブンイレブン」をゼロから築き上げ、日本を代表する流通グループに育てた鈴木敏文さんは長野県生まれ。中央大学経済学部を卒業後、東京出版販売（現トーハン）、イトーヨーカ堂への転職を経て昭和73年にヨークセブン（現セブンイレブン・ジャパン）を設立し、コンビニエンスストアを日本に広めました。戦後の日本を変えたカリスマ経営者の半生が総括されたこの本を紹介します。

一人のサラリーマンは、どのようにカリスマ経営者となり、巨大な流通コングロマリットを率いるようになったのか。そしてどんな壁に直面し、長い年月をかけて築

き上げた「帝国」を去る事になったのか。

日経ビジネスは40年以上に渡り取材を重ね、鈴木さんの退任以降、述べ10時間に渡って本人へ単独インタビューを重ね、鈴木さん自身がその半生を振り返りながら語った真相が描かれています。



鈴木敏文著  
定価・本体1,600円+税  
発売日・2016年12月27日  
形態・四六判(376ページ)

## 建築探訪

### 長野県信濃美術館

長野県信濃美術館は、昭和41年10月に開館し長野県唯一の県立の美術館として半世紀の歴史を刻んできました。善光寺に隣接する城山公園内に、林昌二さんが設計した美術館があります。隣には谷口吉生さん設計の東山魁夷館（平成2年築）もあり、各々の時代と建築家の思想が反映され造形・構成の美しさが光ります。

現在の本館は全国の美術館の中でも最も古く展示室のスペースが狭い、バリアフリーが進んでいない等の課題が多く、全面改築の為2017年10月から休館となり2021年をめどに開館をめざします。改築前の美術館に訪れるチャンスもあと少しになります。ぜひ、訪れてみてください。





特集

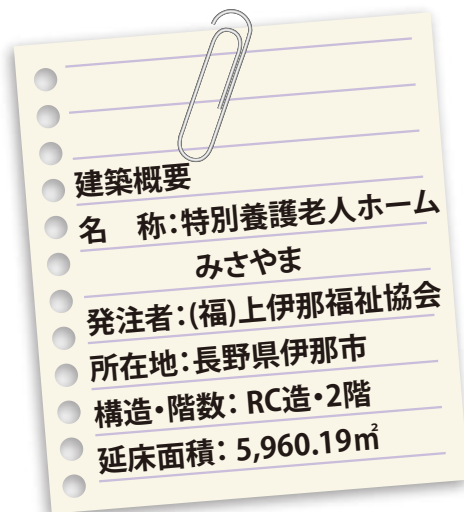
# 施工事例

創業53年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え  
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

## 施工事例

光と風が  
差し込む  
気持ち良い建物



「光と風が差し込む、気持ちの良い建物」をコンセプトに計画しました。

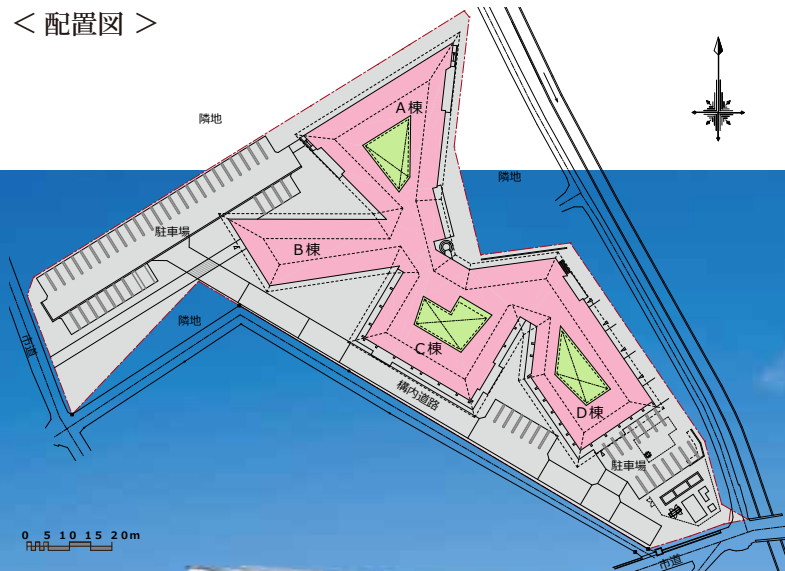
敷地が不整備の傾斜地であること、戸建て住宅に隣接した景観地域であることから多くの居室に採光が必要であることから低層で各棟が放射状に枝分かれする多くの面を持つ建物としました。敷地に5mの高低差があったことから、最下階のスタップスペースによって利用者の空間を支えられている意匠としました。

地域に長く住んだお年寄りの住居は特別のものではなく溶け込んだものである

必要があります。周囲に木々が残っていたため、緑の背景になるように外壁をこげ茶色とし、棟間にも植栽をしました。また、周囲の風景と呼応できるリズムカールな窓が望ましいと考え、戸建て戸建て住宅地に接するところは引き違いの窓を設け、針葉樹の木立に接するところは細長い窓、落葉樹の木立と接するところはその枝ぶりと同じような大きささまざまな大きさの空間のある窓としています。結果いろいろな窓が集まって寄り添って暮らす表情となりました。



< 配置図 >







## café ties 新メニュー2017

今回はcafé ties冬の新メニューの紹介です。サクサク醤油パスタ、あったかぜんざい、塩キャラメルポテト!!の3品です。和風ベースのパスタは豚肉と食べる醤油がよく絡み、後味をひく一品に。甘じょっぱい塩キャラメルポテトはフルーツと生クリームを添えたハワイアン風ポテトです。そしてまだまだ寒いこの時期にあったかぜんざい(緑茶つき)はいかがでしょうか。

2017年もcafé tiesをよろしく願いいたします。



カフェタイズ  
伊那市西町5863-1  
www.cafeties.com

営業時間  
月～木 11:00～18:00  
金 11:00～22:00  
土 10:00～22:00  
日 10:00～20:00  
※冬季の夜営業は宴会ご予約のみ。

# この街の企業

実録 地元のチカラ

伊那青年会議所は、地域社会発展の意気に燃えた20歳から40歳までの純粋な正義感と行動力を持つ青年が、伊那市周辺から集まり、昭和43年6月創立総会、同年10月、全国383番目の青年会議所として社団法人日本青年会議所に承認されました。以来、「



まちづくり」「ひとづくり」「環境」「青少年育成」など多岐にわたる分野で活動が続けています。また、(一社)伊那青年会議所は「明るい豊かなまちづくり」を目的に活動をおこなう団体です。1968年の設立以来、50年の歴史をもつ当会議所は、現役会員、シニアクラブ会員を含めると300人以上が所属し、多くの企業・個人からの賛助により支えられています。「奉仕」活動のなかで「修練」を積み、会員同士の「友情」を育み、卒業後も、ともに地域のために貢献する人材を輩出しています。本年は「心にいつも太陽を」をテーマに、進化し続けるために「をテーマに、まずは自分達を磨くことにより、それが必ず地域の為に繋がる」とい

## 「まちづくり」「ひとづくり」「環境」「青少年育成」など多岐にわたる分野で活動

伊那青年会議所  
(伊那市中央)



う理念のもと1年間活動してまいります。

「自分を成長させたい」、「地域に貢献したい」という純粋な気持ちがある青年の入会を心より歓迎すると共に、当会議所の活動に対する地域の皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。



## 営業コラム



今回は私のお気に入りのお店を紹介しちやいます。その名も「長野といえばパニクマン」昨年行ったお気に入りのお店ランキング1位(私の)のお店でして料理だけでなくお店のデザインやおもてなし学ぶこと盛りだくさんのお店です。

「と箸をのばしていました。馬肉ももちろんおススメなんです。話をお蕎麦も最高なんです。話を聞くとお蕎麦はその香りを楽しんでもらうため蕎麦の実を普通よりも多目に使用しているそうです。長野市へ行った際にはお立ち寄りください!!」

インパクトあるネーミングやポップな店舗看板とはうらはらに店内は落ち着いた大人の雰囲気です。デート・友達との飲み会・会社の接待等々、いろんなシーンで活躍するお店となっております。長野県の食文化を探求するうちに、馬肉にたどり着いたのだとか、「ヘルシーはわかっているけれど」と馬肉に抵抗のある人は少なくありません。一緒に行った妻も最初は馬肉に抵抗があったのですが、食べてビックリ「美味しい」



BANIKUMAN  
長野といえば、パニクマン

理事長の横顔

安藤 泰行



一般社団法人 伊那青年会議所  
長野県伊那市中央4605-8  
TEL:0265-78-2328  
URL: http://www.inajc.org/

### テーマ『心にいつも太陽を』

伊那青年会議所の第50代理事長に就任した安藤さん。本年は「心にいつも太陽を～地域の未来に光を照らし 進化し続けるために～」をテーマに、まずは自分達を磨くことにより、それが必ず地域の為に繋がるという理念のもと1年間活動してまいります。と語られました。

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。  
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、  
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

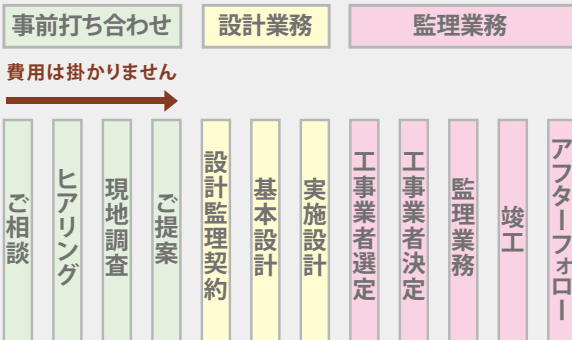
城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



## 城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取組みます



# 株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(上伊) J第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店  
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社)長野県建築士事務所協会  
(社)長野県建築士会

### ■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社  
 長野県伊那市西町 5863-1  
 TEL：0265-72-7271  
 FAX：0265-72-7270

